

Ctestwin でのコンテストの電子ログ提出

この資料は、コンテストの電子ログ提出講習会用に作成した資料です。
初心者の方にも解りやすいようにやさしく解説して有ります。

参考文献:JARL 群馬県支部 オール群馬コンテスト関連 Web

CTESTWIN を活用して鶴見川コンテストに参加しましょう。

取り敢えず紙で記入してコンテスト終了後にCTESTWINに入力して提出も出来ます。
⇒Ⅷ 紙ログデータの入力【連続入力(オフライン入力)】

The screenshot shows the CTESTWIN website in a browser window. The website has a blue header with the CTESTWIN logo and a 'Download' button. Below the logo, there is a 'Download' button and a link to 'コンテスト用ロギングソフト CTESTWIN424 ダウンロード' with a 'FREE' tag. The download link is 'Ctw424.exe 5.83MB (CAB形式圧縮) Oct.13 2018'. Below this, there is a warning box: '友人のJ1IAQY様内OM作のフリーのコンテスト用ロギングソフトウェアです。Windows95,Windows98,Me,2000では動作しません。' and another box: 'コンテストルールは変わっている可能性がありますので、参加する前にルールをよく読み、CTESTWINの動作とコンテストの規約変更情報をお知らせください。' Below these are instructions for installation: 'インストール中に旧バージョンをアンインストールします。個人で構築したマルチチェック用ファイル、グリッドロケータ用ファイル(ctestw.gl)や6m.PCKの名前のパッチェルチェック用ファイルがある場合は、必ず別フォルダにバックアップしてからインストールを行ってください。' and 'インストール方法 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」でダウンロードしたCtw424.exeを指定して実行してください。バージョンアップする場合も同様です。' Below the text is a screenshot of the CTESTWIN software interface, showing a log table with columns for Date, Time, Call, Freq., M., Mz., Ur., and Rem. The log table contains several entries, including YE1C, BV7PC, RAQAA, BSA, VR2IZ, YS5AQB, VK2LJ, A3IA, ZH47, and FO/N6JA. The software interface also shows a frequency display, a grid locator, and a digital clock showing 26:08:12.

<http://e.gmob.jp/ctestwin/Download.html>

コンテストの電子ログ提出講習会 資料

JARL横浜鶴見クラブ

文責: JF1OQM

目次: ※ローマ数字をCtrlキーを押しながらクリックすると項目へジャンプします

[I](#) CTESTWINと主な機能

[II](#) インストール

[III](#) 初期設定(準備)

[IV](#) データの入力・修正・保存

[V](#) 電子ログの作成・提出

[VI](#) 便利な機能

[VII](#) 紙ログデータの入力

I CTESTWIN と主な機能

CTESTWIN は、JI1AQY 堀内氏が開発したコンテスト用ロギングソフトで、次のような機能を持ち国内外の多くのコンテストに対応しています。

この資料は、CTESTWINを用いたコンテストロギングと電子ログの提出を鶴見川コンテストを例に説明するものです。

一部の機能の紹介ですので、詳細はCTESTWINのヘルプやマニュアルをご覧ください。

- ・マルチの抽出及び得点の自動計算
- ・重複交信の確認
- ・電子ログの作成
- ・ログ・サマリーシートの印刷
- ・交信状況のグラフ表示
- ・パーシャルチェック
- ・コンテスト終了後のデータ入力
- ・JARL 形式、Cabrillo、ADIF、HAMLOG 形式など多くの形式のファイル出力
- ・CW・音声の自動送信
- ・PC との周波数・モードの連携
- ・MMTTY・MMVARI との連携 など

Ⅱ インストール

次の CTESTWIN ダウンロードページ <http://e.gmob.jp/ctestwin/Download.html> から CTESTWIN をダウンロードします。

最新バージョンは4.24です。※2018.10.18 現在

ダウンロードの時に実行ボタンを押し画面の表示に従いクリックすればインストールされます。

保存を選択した場合は、保存したフォルダーの ctw424.exe を実行してください。

デスクトップのショートカットアイコンをクリックすると CTESTWIN が起動しメイン画面が表示されます。なお、パソコンの時計は正確に合わせておいてください。

Ⅲ 初期設定(準備)

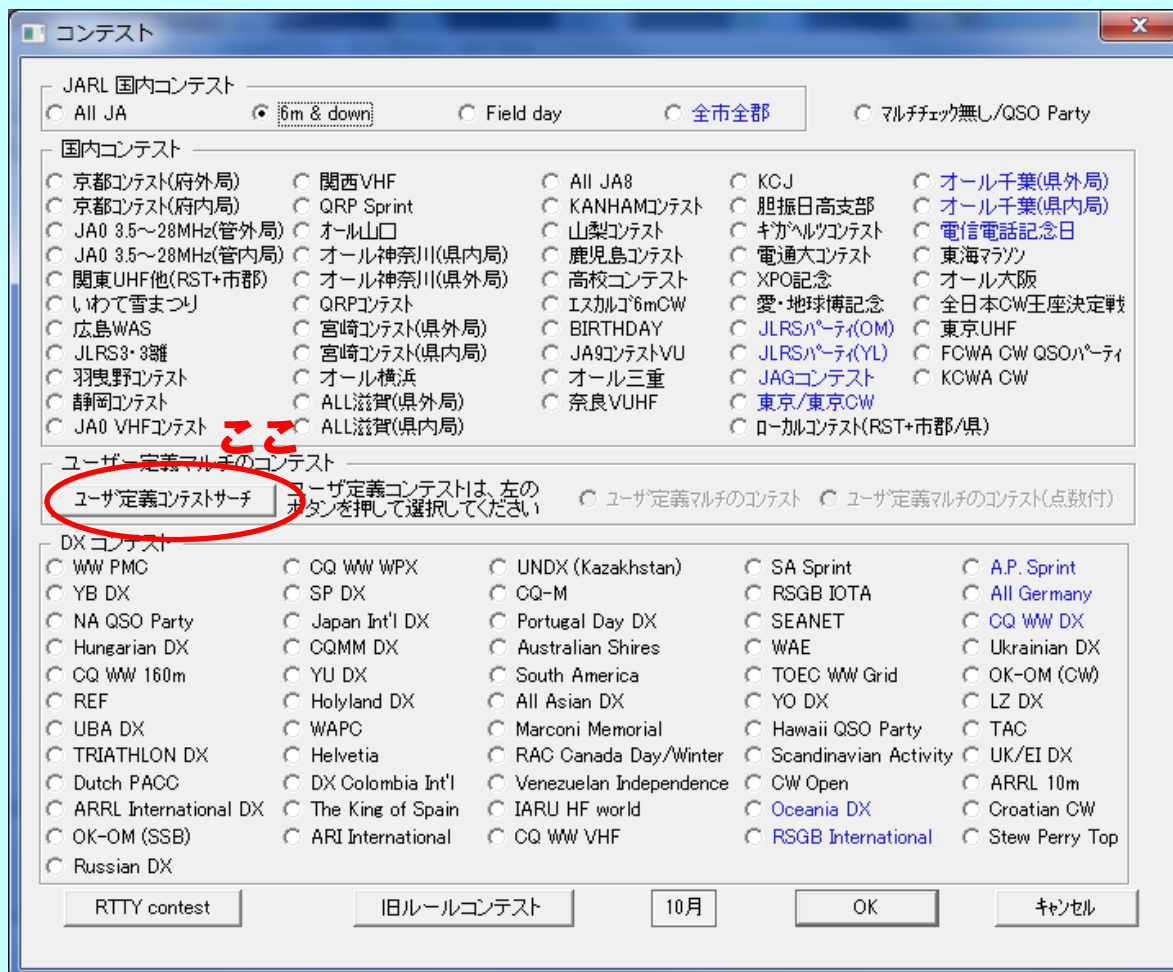
1 コンテストの選択…起動時のメイン画面より

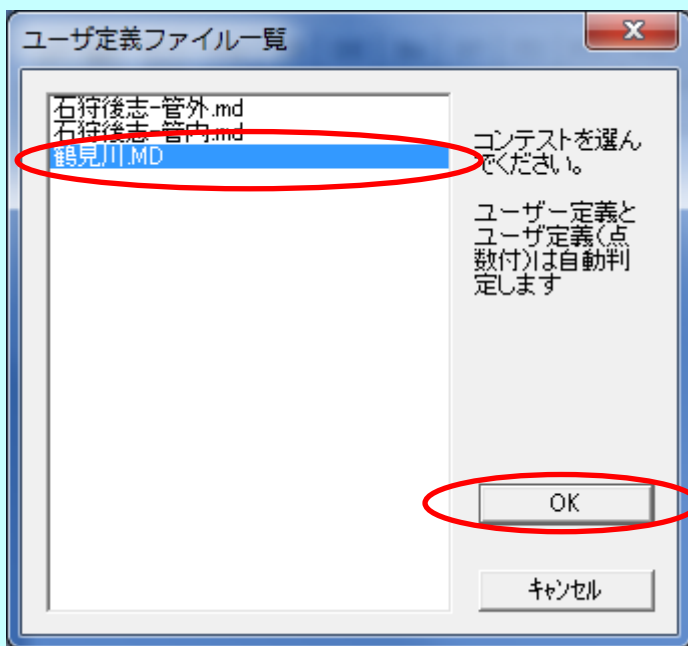


メイン画面①【コンテスト選択・表示ボタン】を押し次の画面からコンテストを選択しますが、選択肢に無いコンテストはマルチチェック用の定義ファイルをダウンロードする必要があります。

[CTESTWINダウンロードページ](#)の左側「国内コンテストMDファイル」の「11月開催マルチチェック用MDファイルダウンロード」(ページ下段)を実行するとCTESTWINフォルダーに定義ファイルがコピーされます。

そのうえで、①ボタン~この画面の「ユーザー定義コンテストサーチ」ボタンを押し、CTESTWINフォルダーの「鶴見川コンテスト.MD」を指定します。





2 バンド・モードの設定

メイン画面②バンドをクリックしバンドを、③モードをクリックしてモードを設定します。運用中のバンドやモードを変えるときは忘れずにこの設定を変える必要があります。

インターフェースユニットをリグと接続し、リグコントロールの設定をしておけば RIG と PC が連動し自動的に設定されます。

3 設定

メイン画面④「設定」をクリックすると下の画面が表示されます。まず必要最小限の設定を行います。



(1)「送信ナンバセット」をクリックして下の画面で送信ナンバーをセットできます。

この画面はメインメニューの⑧Ur RST をクリックしても表示されます。

ご自分が運用される場所に応じてあらかじめセットしておくのがスムーズです。

例:運用場所が鶴見区

1.9MHz		430MHz	TS
3.5MHz		1200MHz	
7MHz		2400MHz	
10MHz		5600MHz	
14MHz		10GHz	
18MHz		24GHz	
21MHz		47GHz	
24MHz		75GHz	
28MHz		77GHz	
50MHz		135GHz	
144MHz		248GHz	
		136kHz	

(2)「点数セット」をクリックして下の画面で1 交信の点数をセットしてください。

鶴見川コンテストでは PHONE1点、CW2点にセットします。

CWにも参戦される可能性がある場合必須です

Band	Phone CW/RV		Phone CW/RV		←AA DX時
	Asia	Non Asia	Asia	Non Asia	
1.9MHz	1	2	1	2	
3.5MHz	1	2	1	2	
7MHz	1	2	1	2	
10MHz	1	2	1	2	
14MHz	1	2	1	2	
18MHz	1	2	1	2	
21MHz	1	2	1	2	
24MHz	1	2	1	2	
28MHz	1	2	1	2	
50MHz	1	2	1	2	
144MHz	1	2	1	2	
			136kHz	1 2	

係数: 1
1: 一般コンテスト
2: フォールドアップ/移動局/関西VHF GL行局
10 or 13: CW生座決定戦
12~25: 京都ニューイヤー(1/10倍されます)

目標点数: 0

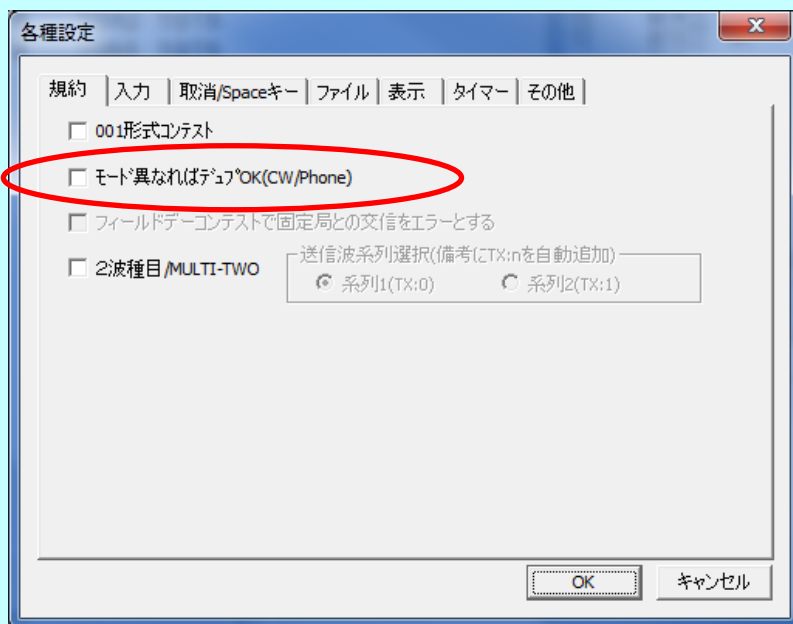
右の点数を全周波数にセット

鶴コンはマルチバンドコンテストではありませんが**“右の点数を全周波数にセット”**の右側のCW/RVの欄で**“2”**と入力**“右の点数を全周波数にセット”**でもOKです

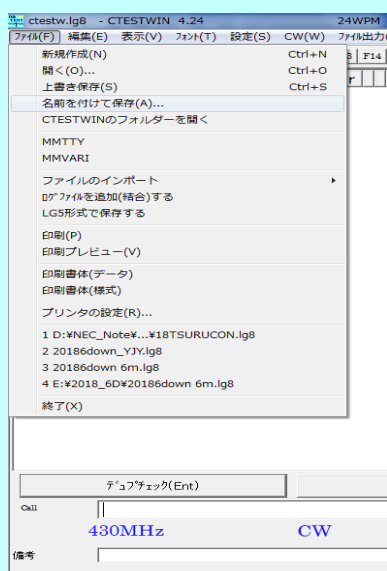
(3) 設定～各種設定をクリックすると次の画面が表示されます。

ここではデータ入力時の各種設定ができますので適宜確認してみてください。この資料では、「データ入力」等の項で必要に応じ触れます。

CW/Phone (FM、SSB など) 両方で参加の場合は『モード異なればデュープ OK』にチェックを入れて“OK”



(4) データファイルの(仮)保存



設定が出来たところで、交信データはまだ“空”ですがこのコンテストに使うデータファイルとして保存しておきましょう。画面左上の“ファイル(F)”～“名前を付けて保存(A)”で保存します。

保存する場所をご自分がわかりやすいところで「18TSURUCON」などわかりやすい名前にして保存します。

※保存した場所を忘れないように！

拡張子は「lg8」となります。なお、コンテスト中や中断するときにも安全のため画面上の左から2番目のフロッピーマークのボタンをクリックし適宜上書き保存しておいた方がよいでしょう。再開するときは保存したファイルを読み込みます。

4 CWの設定 ※インターフェースで接続する場合に有効

メイン画面⑤「CW-CWパラメータ設定」をクリックすると次の画面が表示されますので CW に関する設定を行います。

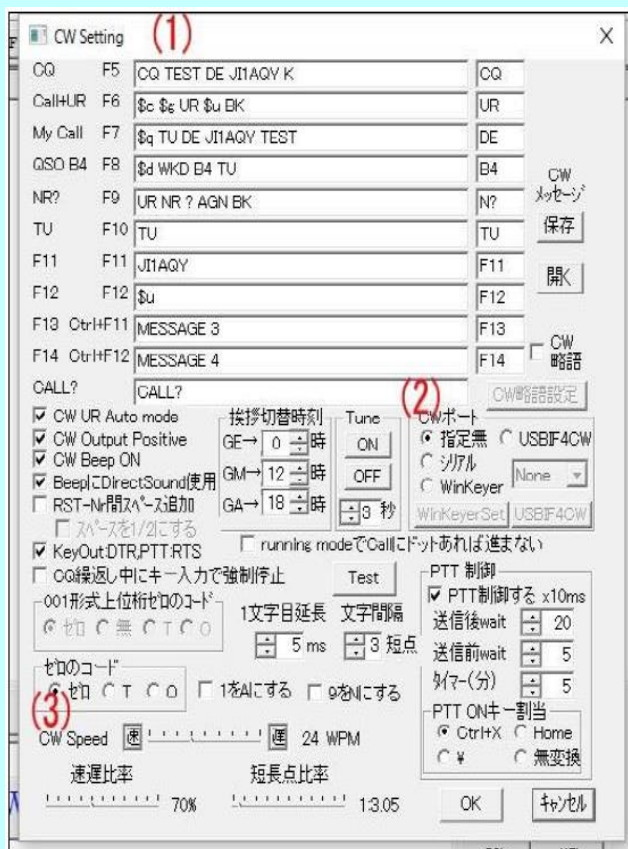
CW ではPCのRS232C COMポート出力をRIGのキー入力端子にインターフェースケーブルで接続することによりメッセージをファンクションキー(以下「Fキー」)で自動送信できます。主にそのための設定を次の画面で行います。

なお、最近のPCはCOM端子がなくUSBポートだけのものが多いので、その場合はUSB-シリアルの変換ケーブルも必要になります。

インターフェースケーブル(機器)は複数のモードに対応するものなど市販品がありますが、CWだけのものでしたら簡単に自作できます。

電信部門参加の方はぜひこの機能を利用してください。非常に便利で楽な運用ができます。

※フォトカプラーを使ったCWインターフェースなど HELP に作成例がありますのでご覧ください。



※電話の場合でも、インターフェースがあればCQなどをWAVファイルに録音してファンクションキーに登録することにより音声をFキーで出力できます。メイン画面④「設定-WAV/MP3 再生ファイル設定」で音声ファイルを指定します

(1)Fキーに対応する入力欄は、自動送信するメッセージを入力するためのものです。コールサインが作者のものになっていますので自分のもの書き換えてください。他は適宜修正して使えますが、最初はほぼこのまま使うのがよいと思います。該当のFキーを押すことにより送出されます。途中で止める場合はESCキー又は「手のひら」ボタンを押します。

自動送信の制御文字の意味はHELPをご覧ください。

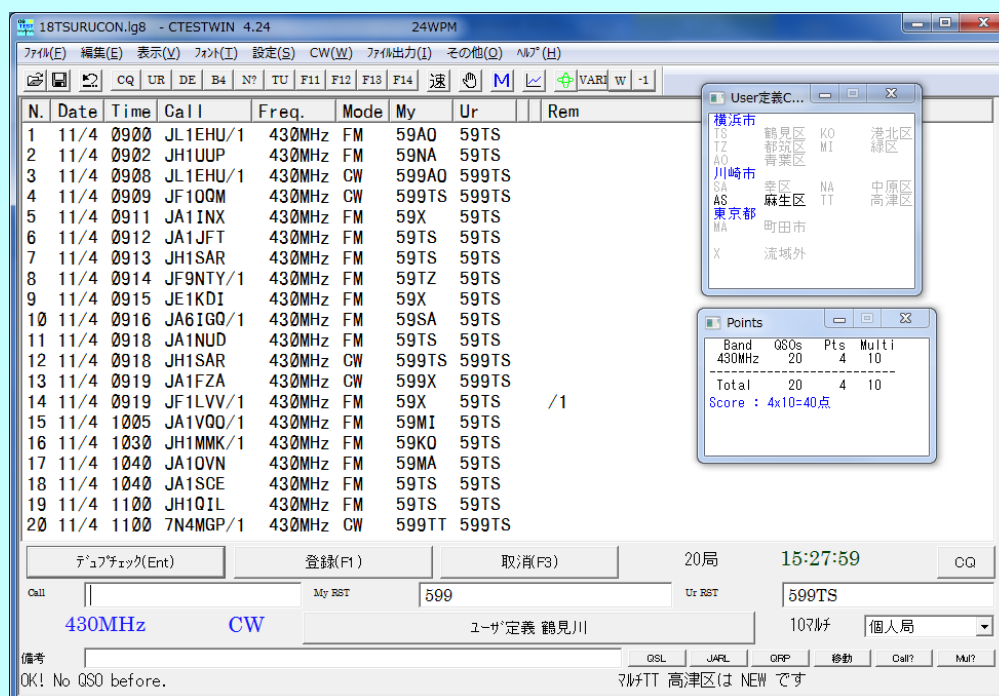
(2)CWポートを設定します。通常は「シリアル」を選んでCOMポートの番号を指定します。ポート番号は、PCのデバイスマネージャーで確認して有効な番号に設定します。USB4CW等の市販のインターフェースを使う場合はそれに応じた設定をしてください。

(3)CWSpeedを設定します。自分が受信できるスピードに設定するのがよいでしょう。

数字を簡略化する場合は該当欄をチェックしておきます。

IV データの入力・修正・保存

1 データの入力



(1)「Call」欄へコールサインを入力し Enter キーを押すと入力済みの局でなければカーソルが「My RST」

欄へ移動しますので受信したコンテストナンバーを入力します。さらに Enter キーを押すとデータが登録されメイン画面のQSOデータ一覧に表示されます。登録は「登録(F1)」ボタンまたはF1キーでも可能

(2)コールサインを入力し Enter キーを押したときには重複チェックが行われ入力済みで重複している場合は入力したコールサインは消えてエラーが表示されます。(このとき、CWであればF8キーを押すことにより「WKD B4」が送出されます。)

※「各種設定-入力」の「重複局も記録」をチェックしておけば登録は可能だが得点 0(ゼロ)で記録

(3)マルチが不正の場合はエラー表示がでますので正しいものに訂正してください。とりあえず記録したい場合には Ctrl キーを押しながら Enter キーを押すことで不正なものであっても登録できます。

(4)「各種設定-取消/Space キー=スペースキーの動作」で「CALL-MY 移動する」をチェックしておくともカーソルが「Call」と「My RST」欄を交互に移動しますのでコールサインの修正には便利です。

(5)登録前のデータを取り消したい場合は「取消(F3)」ボタンまたはF3キーを押します。

(6)備考欄には適宜入力できますが、「QSL」や「JARL」などのボタンにメイン画面④「設定-備考ボタン、強制入力文字設定」画面からあらかじめ入力しておくことができます。

2 データの修正・削除

入力したデータの修正・削除は、メイン画面のQSOデータ一覧の該当データの行をダブルクリック(又は右クリックで一行編集を選択)して表示される下記のQSOデータ編集画面で行います。

Shift キーや Ctrl キーを用いて複数行を選択して一括修正もできます。

3 データの保存

(1)コンテストが終了したらデータを最終上書き保存します。ファイル名は設定のところで保存したそのまま「18TSURUCON」などわかりやすい名前にします。拡張子は「lg8」となります。なお、コンテスト中や中断するときにも安全のため画面上の左から2番目のフロッピーマークのボタンをクリックし適宜上書き保存しておいた方がよいでしょう。再開するときは保存したファイルを読み込みます。

(2)何かの不具合でPCが固まったり、リセットがかかってしまった場合等に備えて、CTESTWINではメイン画面④「設定-各種設定-ファイル-ログデータの自動バックアップ」欄をチェックしておくことにより「temp*.lg8」というバックアップファイルが自動的にできていますのでこのファイルを開くことにより復元できます。

V 電子ログの作成・提出

1 JARL形式の電子ログ作成

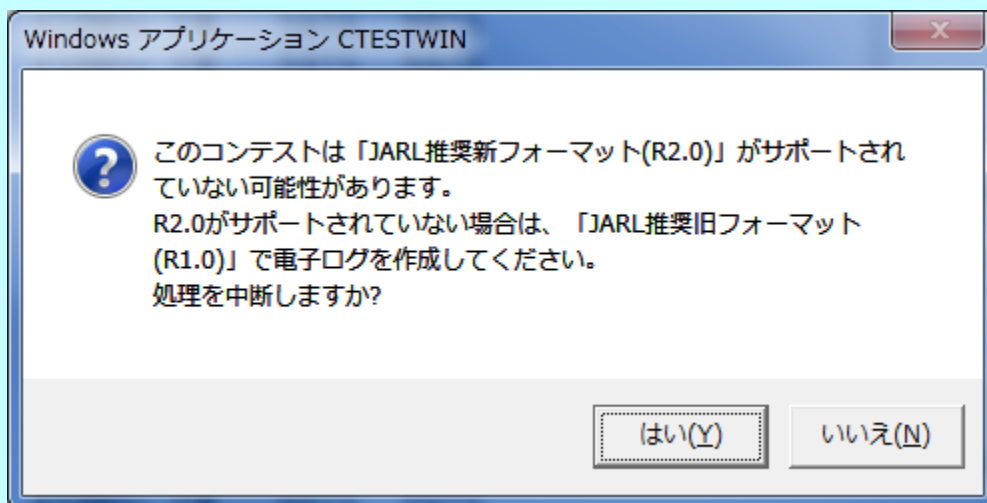
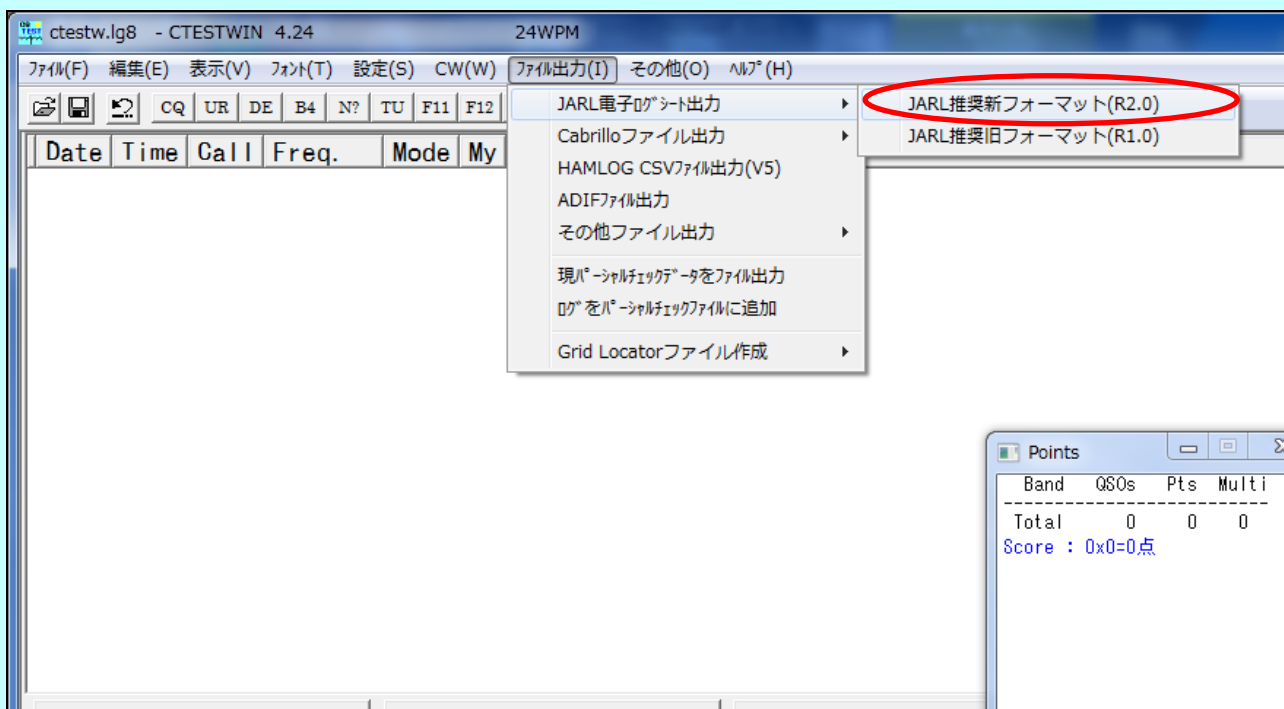
保存していたログファイルを読み込み、メイン画面⑥「ファイル出力-JARL電子ログシート出力」をクリックします。

JARL主催コンテスト電子ログのサマリーシートの様式が改正され、CTESTWINバージョン 4.10以降では

JARL電子ログサマリーシート R2.0に対応しました

鶴見川コンテストでは必ず新様式(R2.0)で作成・提出をお願いします。

作成は、メイン画面⑥「ファイル出力-JARL電子ログシート出力-JARL推奨新フォーマット(R2.0)」をクリックします。「このコンテストではJARL推奨新フォーマット(R2.0)で電子ログを作成してください。」



上記のメッセージが出ますが鶴コンは**新様式(R2.0)**を指定させて頂いてますので“**いいえ(N)**”を押して進みます。

下記サマリーシートの様式が表示されますので記入してOKボタンを押して保存してください。

保存場所は既定値では CTESTWIN のフォルダーに保存されます。

ファイル名はログファイル同様「18TSURUCON」などとするのがよいでしょう。拡張子は「txt」になります。サマリーシートとログシートが一体になったファイルが作成されています。これはテキストファイルですので Windows アクセサリーのメモ帳などで確認できます。



136k	0	0	0	1.9M	0	0	0	3.5M	0	0	0
7M	0	0	0	10M	0	0	0	14M	0	0	0
18M	0	0	0	21M	0	0	0	24M	0	0	0
28M	0	0	0	50M	0	0	0	144M	0	0	0
430M	20	25	10	1.2G	0	0	0	2.4G	0	0	0
5.6G	0	0	0	10G	0	0	0	24G	0	0	0
47G	0	0	0	75G	0	0	0	77G	0	0	0
135G	0	0	0	248G	0	0	0				

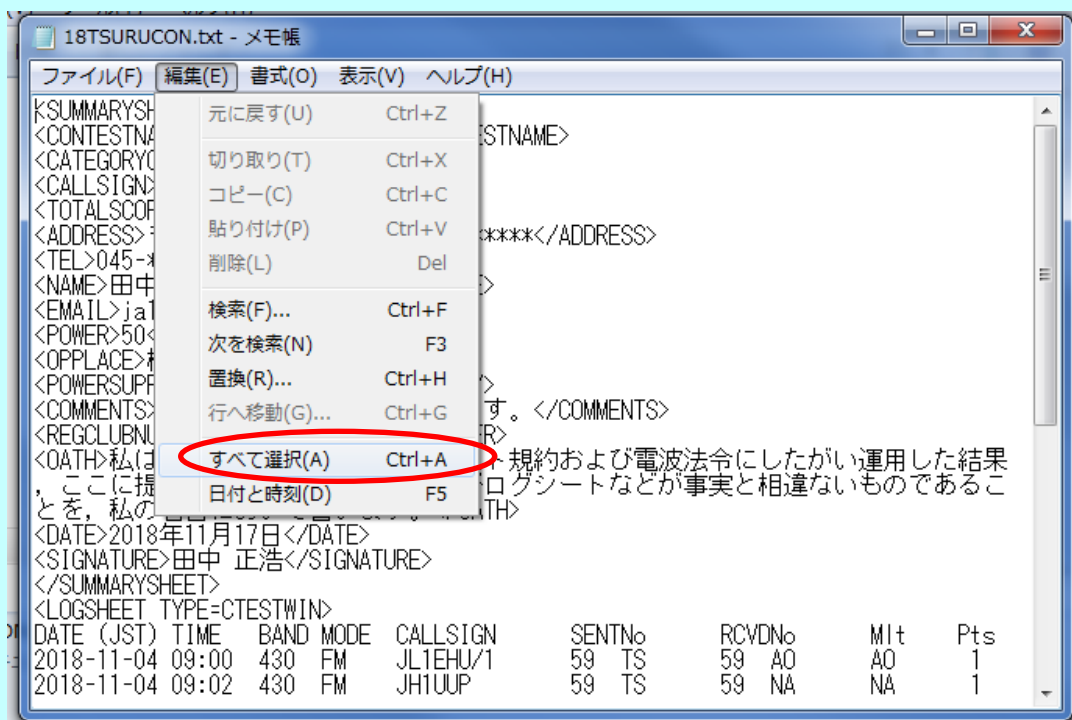
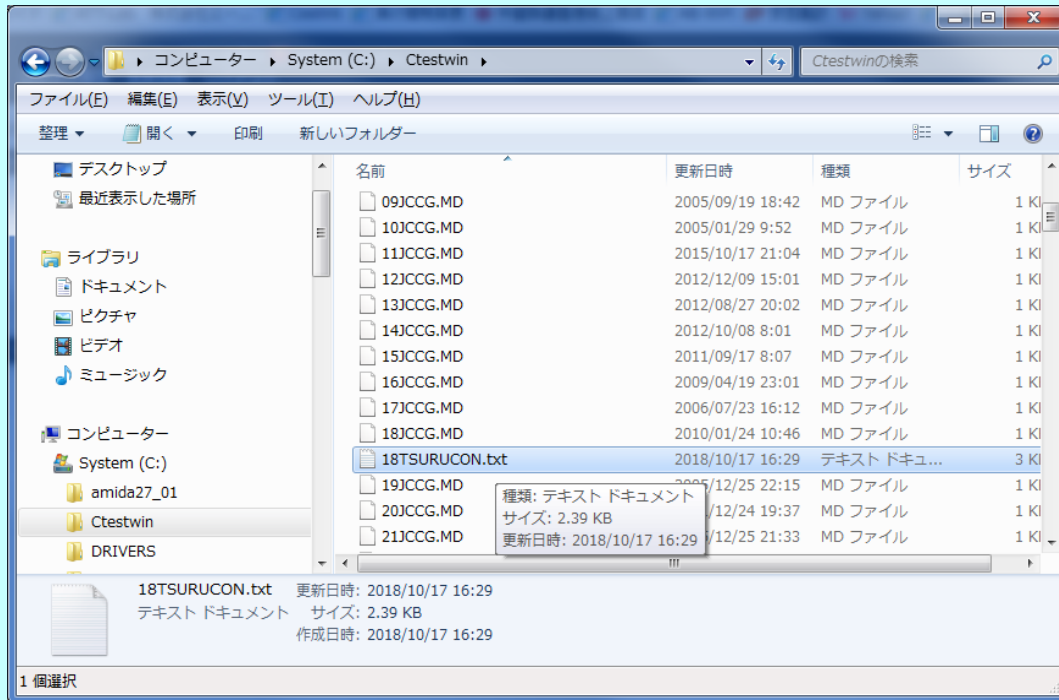
局種係数(Field Day Contest)
合計 20 25 10 総得点 250 1

※ 得点等も自動で計算され記入されて表示されますが、一応間違いがないか確認します。**赤字の箇所が必須**です住所は正確に、郵便番号・電話番号を必ず記入してください。また、参加部門・種目に応じた必要事項等記入漏れが無いようチェックしてください。

※ 複数のバンドやモードでQSOLし、シングルバンド・モードで提出する場合は「ログ出力モード周波数限定」ボタンを押して該当項目だけをチェックして提出します。点数は該当部分のみで計算され、他はチェックログとして活用されます。

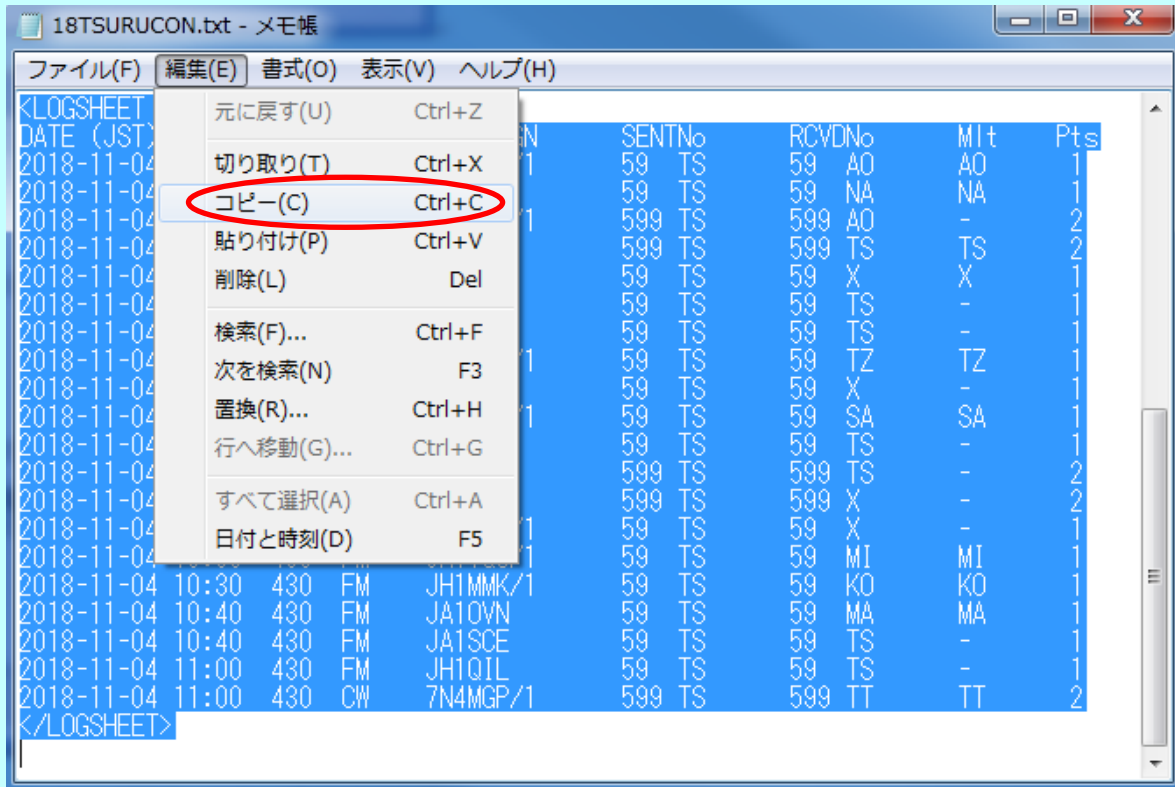
2 電子ログの提出

(1) マイコンピューターやエクスプローラーから保存済の「18TSURUCON.TXT」を開きます



データを全てコピーします:「編集-すべて選択」をクリックし～

「編集-コピー」をクリックします。)



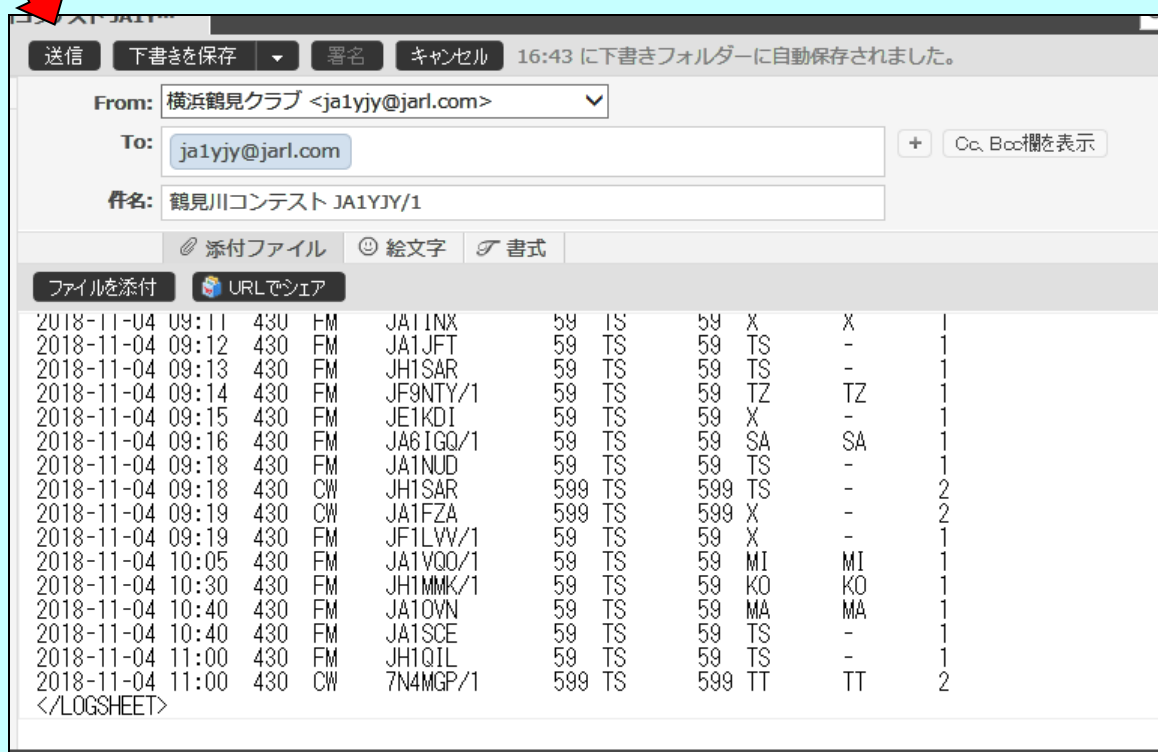
(2)いつもお使いの電子メール画面を起動し、“メールの作成”もしくは“新規メール”で送信メールを作成していきます。

(3)本文のウィンドーをクリックし、先ほどコピーしたものを貼り付けます。(「編集-貼り付け」又はクリップボードの「貼り付け」をクリックすると本文にJARL形式の電子ログが貼り付けられます。)

(4)宛先を「ja1yjy@jarl.com」とし、**件名(タイトル)に規約に準じ提出局のコールサインとコンテスト名を記入**します。(例 JA1YJY/1 鶴見川コンテスト)
スペース ↑

(5)送信ボタンを押して終了です。

※Yahoo Web Mail でのメール作成中の例



※送信後間違いなどを見つけ訂正したい場合は、その旨明記し、修正したものを再送してください。最新のもので処理されます。

VI 便利な機能

1 コンテスト参加中

(1) 点数の表示

メイン画面⑫「表示-点数表示」でその時点での交信局数や点数を表示します。この画面は、メイン画面⑨局数をクリックしても表示されます。

(2) マルチの表示

メイン画面⑫「表示-マルチ表示」でマルチが表示され、交信済みのマルチが灰色で表示されます。この画面は、メイン画面⑩マルチをクリックしても表示されます。

(3) QSOLレートグラフ表示

メイン画面⑫「表示-QSOLレートグラフ表示」で時間あたりの交信局数などがグラフで表示されます。

(4) パーシャルチェック

メイン画面⑫「表示-パーシャルチェック表示」は過去のコンテストのデータなどを活用し、部分的に確認できなかったコールサインを補完する機能です。パーシャルチェックファイルを指定しておくことで、入力に応じて一部該当コールサインが表示されます。コールサイン入力の際に不明の部分を(ピリオド)にするとより関連するコールサインが表示されます。その中から該当するものをカーソル又はマウスで指定するとコールサイン欄に入力されます。

このためのパーシャルチェックファイルは、メニューの「ファイル出力-ログをパーシャルチェックファイルに追加」で作成しておきます。(例 6m.pck)

(5) 同一バンドにおいて、モードが異なっても同一局とのQSOが1回しか許可されないコンテスト

でCWの点数がPHONEの点数より高い場合には、CWを正常QSOにしてPHONEを重複

交信に自動的に修正することができます。

メイン画面⑦「その他-Dupe の場合 CW を優先にする」を選択すると全データをサーチして Dupe をCW優先に付け替えます。

なお、メイン画面④「各種設定」で「モード異なればデュプ OK(CW/Phone)」がチェックされている場合及びモードが異なると重複QSOが可能なコンテストの場合にはこの機能は動作しません。

(6)連続QSO

CQを出して呼ばれる場合や呼びに回る場合にファンクションキーを使って効率的に連続QSOができます。(マニュアルをご覧ください)

(7)リグコントロール機能

PCとトランシーバを接続して周波数やモードを連動させて、バンドやモードを自動的に切り替えてミスなくすることができます。(マニュアルをご覧ください)

なお、リグコントロールとCW自動送信の両方を使う場合はPCに2つのCOMポートが必要です。

(8)MMTTY・MMVARIとの連携

本来コンテスト用ソフトでないデジタルモード運用のためのMMTTY及びMMVARIのエンジンをCTE STWINに組み込み効率的なコンテスト運用を可能にします。(マニュアルをご覧ください)

(9)TELNET クラスタとの連携

TELNETクラスタと連携してクラスタ情報からコールサインや周波数を取り込むことができます(マニュアルをご覧ください)

(10)フォントの変更

メイン画面⑬「フォント」をクリックしてフォントサイズ、色等を変更できます。

いろいろ変更できますが、文字が小さいと感じる方が多いと思いますので、「QSO リスト表示フォント」と「入力枠表示フォント」のサイズを大きくしておくと思やすくなると思います。

2 コンテスト終了後

(1)様々な形式のファイル出力…HAMLOGへの読み込みも出来ます

メイン画面⑥「ファイル出力」から「JARL電子ログ」形式のほか、海外コンテスト用の形式である「Cabrillo」、TurboHamlog用「CSV」、世界標準の「ADIF」形式等多くのファイル形式で出力できます。

(2)サマリー・ログシートの印刷

メイン画面⑪「ファイル印刷」でJARL形式の書式のサマリーシート・ログシートの印刷ができます。但し、JARL主催のコンテストでは、紙ログの場合手書きログ以外は認めませんので保存用と考えた方がよいでしょう。

VII 紙ログデータの入力【連続入力(オフライン入力)】

連続入力を利用することにより、紙ログで記録したものを入力して電子ログとしてEメールで提出できます。

JARLのE-LOGMAKERを利用するより効率的で便利かと思えます。

- (1) 最初にコンテストを選択します。(Ⅲ初期設定の1参照)
- (2) メイン画面⑦「その他-連続データ入力(OFFLINE)」をクリックすると入力画面になります。

バンド、モードを設定し、年月日から送信コンテストナンバー(Ur Num)まで入力し「データ登録」ボタンを押します(Enter キーによりカーソルが次の入力欄へ移動します)。次のデータ入力からは時間、コールサイン、MyNum の入力で済みますので効率的に入力できます。入力終了は、「連続入力終了」ボタンを押します。修正等は「データの入力・修正・保存」の項同様に処理します。

データ連続入力(OFFLINE入力)

年 月 日 時 分 秒 JST UTC
2018 11 4 14 11 0

周波数 430MHz
モード FM

Call Sign
My Num 59
Ur Num 59
Club OP Name 個人局

データ登録 (F1)

備考
 登録毎に備考を消す

連続入力終了

QSL JARL QRP 移動 Call? Mul?

- (3) 入力後は、通常の処理と同じようにサマリーシートに必要項目を入力して完成です([V電子ログの作成・提出](#)の項参照)。

以上が取り急ぎの活用方法の詳細です。

おつかれさまでした。